とっとり しまね おかやま ひろしま やまぐち
コープCSネット 中国・四国 便り
生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報
とくしま かがわ えひめ こうち
第22号
発行 2010年1月28日
通巻22号

CO・OP 9生協の夢広がるネットワーク

2009年はこんな行事もありました。

尾道ドライセットセンター 取引先説明会

2009年10月21日(水)福山市にて、10月28日(水)広島市にて、2日程で、尾道ドライセットセンター取引先説明会が開催されました。当日は、多くの取引先様のご参加を頂きました。

写真はどちらも21日福山会場の様子。

試食学習会

2009年10月8日(木) おかやまコープオルガホールにて、コープCSネット主催重点商品学習試食会が開催されました。

写真は試食会場の様子。

会員生協から2名の事例発表がありました。

「生ずわいかに肩」の取り組みを報告されるおかやまコープ小橋さん。

マネージャーの立場から、支所マネジーメントの事例を報告される鳥取県生協保木本さん。

CONTENTS

ページ

2 年始のご挨拶
3 三橋理事長、小泉専務、金井常務、真木常務
4 会員生協年末の風景
5
6 コープCSネット開発商品 新商品のお知らせ
2009年度 第4次・5次CS人事
2010年度 第1次CS人事
組織図(2010年度第1次)
7 CS開発商品 第1回現地学習会 ～(株)マルツネ、JAにしみの～
8 会議報告・数値報告・私たちの生協です!

コープCSネット理事長
三橋幸夫

新年、明けまして おめでとうございます

コープCSネットが設立され五年目を迎えようとしています。会員生協への事業貢献には「まだら模様」の差異はありますが、事業連帯という側面からは、順調に進めることができました。関係各位に感謝を申し上げます。

昨年は、２００８年末に起こったリーマンショックの余波から、日本経済全体はかつてない不況に見舞われました。消費者の生活防衛の意識が高まり、生協の経営も困難に直面しています。また、一方では、「ＣＯ・ＯＰ手作り餃子重大中毒事故」以降、消費者や生協組合員の「安心安全志向」は高まり、「国産品」や「地産地消」に対する関心や期待も高くなっています。

２００９年は、コープCSネットにとって第２次中期計画の二年目として大きな転換期となりました。

無店舗事業においては、２００８年に引き続き、地域に適応したマーチャンダイジングや地産地消を進めました。無店舗事業の食品分野でＮＢ商品共同仕入れを２００９年４月からスタートし、値入れ率の向上など会員生協の事業面に貢献しました。今年２０１０年４月からは菓子分野、雑貨分野でもＮＢ商品共同仕入れを開始する予定です。

また、品質保証の面でも強化をすすめ、ＰＢ商品の定期工場点検に加え、ＰＢ商品の特定原材料点検も継続して行なっています。

一方で、物流・情報システムの統合といったインフラストラクチャーの整備にむけた方向性を一致させました。中国５県を網羅する「尾道ドライセットセンター」については、今年３月に稼動を開始し、さらに組合員の暮らしに貢献していきます。

コープCSネット開発商品は、２００９年４月～12月に新たに13商品をリリースし、中国地区５生協の共同購入事業だけでなく、四国地区や店舗でも、多くの組合員さんに支持を頂いています。

事業面においては、２００９年度の11月を終えた時点で、供給高（コープCSネット受注高）は前年比９８・３％と厳しい状況が続いています。利用人数は前年比１００・３％と踏みとどまっているものの実利用高が９７・７％と後退しています。経常剰余は前年比２５・８％と大幅な減益となっています。供給高の後退とともに非食品のＧＰＲが十分に管理しきれていないことが主原因となっています。非食事業の建て直しが２０１０年の大きな鍵となっています。

会員生協の経営も大きな困難に直面しています。その原因の多くは、コープCSネットの力不足にあります。会員生協や取引先の知恵と支援を受けつつ、何としても打開していく決意です。今年は、会員生協とともに歩んでいく「事業連帯の質的な前進の年」と位置づけています。

組合員のくらしは、不況による所得減少と社会負担の増加、食を含めたくらしの不安という閉塞状態にあります。生協がその存在意義を発揮し、今こそくらしに貢献するときだと思います。これからの一年が本領発揮の年となるように、関係各位のご指導ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

コープCSネット 専務理事・常務理事 年始の抱負

専務理事
小泉 信司

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年からの景気低迷は今年も消費生活に大きな影響を与えると予測されている中で、コープCSネットも今年で5年目を迎えることになります。これまで以上に厳しい環境の中、会員生協の皆様と一緒になって、組合員さんにより貢献できる事業・商品供給を進めていきたいと思います。そのために私達は、①商品開発・品揃え・カタログのあり方等すべての面から事業連合としてマーチャンダイジングのあるべき姿を再構築すること、②会員生協の皆様とのコミュニケーション・意見交換を密にし、会員生協・コープCSネットの課題をリンクさせ、意志を持って事業を進めていくこと、③内部運営改善・改革を進め、地域社会に貢献できる組織・事業を進めることを目指して、1年間取り組みを強化していきたいと考えています。また　3月末から稼動するODSC(尾道ドライセットセンター)の円滑運営と、四国4生協様とのこれまでの事業連帯の総括・今後についての論議も重要な課題です。第二次中期計画策定と合わせて、会員9生協の皆様と一緒に進めてまいります。

より一層厳しい環境の中で、小売業においても、生き残りをかけた激しい競争の中、一定の淘汰が進むとも言われています。私達は、生協の強みを十二分に発揮し、組合員の目線で事業活動を進め、地域社会・組合員の生活、そして会員生協の皆様になくてはならない、頼りにされる事業連合を目指して頑張ってまいりますので、今年もよろしくお願いいたします。

常務理事(商品事業本部 本部長)
木村 貴正 真

新年、あけましておめでとうございます。

昨年来の世界同時不況の中、消費の低迷は益々深刻化を増しております。これは、消費者の暮らしの大変さの現われであると共に、生産者へも大きな打撃となっています。また、我々生協経営にも非常な困難さをもたらしています。2010年は、統一事業となって5年目の節目の年となります。再度、事業連合発足の原点に立ち返り、生協組合員のくらしと会員生協の経営に貢献できる事業をめざして頑張る決意です。

そこで、先ず第一に大切にしたいことは、生協組合員の食生活の中でなくてはならない生活基礎的商品で、しっかり生協の存在感を発揮したいと考えています。現在、この分野はそもそも組合員の生協への期待も大きいはずですが、組合員の家計シェアに占める生協商品は後退傾向にあります。これらの生活基礎的商品は、生協らしさの発揮できる商品が多くを占めています。生協運動の歴史的にも大切にしてきたものです。再度、この分野の商品群を会員生協の皆様と一緒になって強化していきたいと考えています。このためには、紙面の単純なプロモーションだけでは無理で、価格競争力や品質面の商品力の強化や、売り場作りから商品普及活動や生産者との連帯など様々な局面で会員生協の皆様とのコミュニケーションをしっかりとはかりながらすすめたいと考えています。また、商品開発(コープ商品だけでなく、広い意味での)や品揃えの強化もはかります。

次に、09年度の年末商戦は、厳しい中でも上期までの傾向からすると少し好転できました。この原動力となったキャンペーン商品の成功は、将来に期待が持てる成果であると考えています。会員生協と一緒になって「売り」をつくるエネルギーが発揮できるキャンペーン商品の提案を更に強化していきたいと考えています。

非食についても同様に日用品、化粧品、家庭用品のいつもの暮らしの必需品を更に強化していきます。その上で家電のような新たなチャレンジにも挑戦していきたいと考えています。

また、今年から尾道のドライセットセンター(ODSC)が稼動します。この成功により、引き続き点数アップをはかると共に、年齢層に対応した、買いやすさへの努力をしていきたいと思います。

以上、経済環境は益々厳しくなりますが、情勢に負けることなく是非とも成果の上がる一年としたいものです。最後に会員生協の皆様のご指導、ご協力を心からお願いしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

常務理事(事業支援本部 本部長)
金井 保

新年明けましておめでとうございます。

コープCSネット会員生協の役職員の皆様にはどのような新年をお迎えになっていらっしゃるでしょうか。

2005年7月のコープCSネット設立総会から今年で満5年を迎えることになります。また、2006年4月の中国地区5生協食品媒体、中国四国9生協非食品媒体の統合から足掛け5年目の節目の年となります。

この間には、創立の当初に予期しなかった「CO・OP手作り餃子重大中毒事故」や「生協法の抜本的改定」がありました。国内外でも、リーマンショックを引き金にした「世界的金融不況と景気低迷」、「デフレ傾向の再来」、「オバマ政権の誕生」、「政権交代を掲げた民主党の衆院選挙勝利」、等々、枚挙にいとまがありません。しかし、消費者、生協組合員の日々の営みは、厳しくとも淡々と進み、生協の事業もまたその組合員の生活に対応しながら着実に築かれつつあります。

本年2010年は中国四国地区生協の事業連帯にとって新しい局面を迎えることになります。2年近くにわたって討議し、準備してきた「物流の共同化」の第一歩を尾道ドライセットセンター(ODSC)の本格稼働によってスタートします。この後も、2012年には冷凍商品の仕分けをODSC隣接用地で日本生協連との共同事業とすることを決定し、その他の冷蔵品・農産品の物流の最適化についての協議も詰めの段階を迎えています。これらの「物流の共同化」は、物流という枠にとどまらず、「情報システム」「事業運営・マネジメント」分野の最適化＝共同化に進化していくものと確信しています。

厳しい社会・経済環境の中での生協事業運営が、事業連帯の拡大深化に向かうことは、イギリスやイタリアの生協先進国の事例が示しているようです。

組合員の生活を中心に据えた、事業連帯のあり方について、一層意見を交えていくことが大切な時期を迎えていると思います。コープCSネット会員生協役職員の皆様方の積極的な議論参加をお願いしまして、新春のご挨拶に代えさせて頂きます。

会員生協トピックス

年末の風景

鳥取県生協

鳥取県生協 年末の風景

西部では、貿易ゲーム（資産、資源を持っていないと、お金も稼げないし、物も作れないし、他国と交渉もできないことを実感できるゲーム）で世界経済を体感し、ユニセフの活動報告&ビデオ学習でしっかり勉強した後、フィリピンのクリスマス料理を作ってちょっぴりパーティー気分を味わっちゃいました。

その他、各エリアでユニセフハンド・イン・ハンドに取組んだり、子育てひろばのクリスマス企画で、サンタさんが登場したり、いつもの年末の風景がみられました。

サンタさん登場によろこぶ子供たち

ハンド・イン・ハンド

貿易ゲームで世界経済を体感します

生協しまね

エサに島根県産のおコメを使った、

産直こめたまご 12月3回からお届けスタート

米生産農家と養鶏家の『耕畜連携』。そして、たまごを食べる私たち組合員、消費者が安定的に利用し、信頼関係を深めたり学びの場としての産地交流など『産消連携』。そんなお互いに『できること』でしっかりつながり合い、そのことが地域に元気を生み出す力にもなる。このような想いを重ねた取り組みが、『産直こめたまご』というカタチになって、12月3回からスタートしました。

当日は、出雲支所を会場に飼料米を生産した営農組合、養鶏農家、JAいずものみなさん、体験交流活動に親子・家族で参加してきた組合員と生協職員の総勢30名で、賑やかに出発式を行いました。

出雲支所で出発式

おかやまコープ

第31回

ユニセフハンド・イン・ハンド 取り組みの報告

12月23日を中心に、（財）日本ユニセフ協会が呼びかけて全国一斉に実施される「ユニセフハンド・イン・ハンド」には全エリアが参加し、ボランティアの組合員さんと子どもたちは寒さにも負けず、「一度も誕生日を迎えられない小さな命のために…」と募金を呼びかけました。また、オリジナル募金箱での募金、ユニセフグッズ展示・販売、迎春商品試食会やバザー、ハンドベル演奏、ふるまいコーヒーの提供などと組み合わせてアイディアいっぱいの楽しい取り組みになりました。

募金箱をいっぱい並べて「ご協力を～」

小さな手で「ワタシも…ね！」

県北の風は冷たいけれど、笑顔で呼びかけ

募金額 217,913円

ボランティア参加者

125名（全11ヶ所）（内、子ども00名）

生協ひろしま

各地に現われたCO・OPサンタ

12月24日のクリスマスイブ、県内各地に職員有志のCO・OPサンタが現われ、組合員さんのクリスマス気分を盛り上げました。当日は、サンタの配送担当者や店舗職員、応援の本部職員、さらに、ノリノリの店長サンタまで登場し、共同購入では、予約いただいたケーキやオードブルをお届けする「クリスマス特別配送」、店舗では予約品のお渡しを行いました。配送中のCO・OPサンタに手を振ったり、うれしそうにケーキを受け取る子どもたちの姿も見られ、皆さんに喜んでいただく様子を実感、組合員さんよりテンションが上がった職員もいたようでした。

店舗に現れたサンタ2人組。ハイテンションでパーティー気分を盛り上げました。

県北地方は前週に降った雪が残る、ホワイトクリスマスでした

コープやまぐち

被爆された方への手作りひざかけ等と平和カンパを「ゆだ苑」に届けました！

12月7日、組合員の代表が「山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑」を訪れ、各地域の組合員が平和への願いを込めて編んだひざかけや肩かけを贈りました。この取り組みは1986年から始まり、今回も県内在住の被爆者の方に届けられた他、休日巡回検診でも贈られます。

今年贈られたのは、組合員さんから寄せられた1枚1枚のモチーフをつなぎ合わせたひざかけや毛糸で編んだ肩かけ・マフラーなど合計198点。心のこもった絵てがみやメッセージが添えられています。受け取られた被爆者の方からお礼のお電話やお手紙が届いています。

また、あわせて、平和カンパの中からゆだ苑の活動支援として20万円を寄付させていただきました。

ゆだ苑の皆さんと組合員さん

寄せられたモチーフ

贈呈の様子

とくしま生協

サンタ&トナカイのコンビ大活躍

「子育てプロジェクト」による「げんきっずくらぶ」は歌や手遊び、読み聞かせ、料理教室などの楽しい取り組みを通じ親子で交流できる場として、毎月2～3か所で開催され、赤ちゃんから未就学児までの親子が月平均70人参加しています。

12月はクリスマス企画で例年は職員の扮するサンタが好評ですが、今年はサンタとトナカイのペアが登場。子どもたちは最初はトナカイの着ぐるみを怖がっていましたが、すぐに慣れて人気者になり、母さんたちにも大好評でした。

このサンタ&トナカイは12月23日に取り組まれた徳島県各界連主催の「消費税No！クリスマス宣伝行動」にも登場し、買い物客でにぎわう徳島駅前で増税反対を訴えました。

増税反対も訴えるサンタ&トナカイ

「げんきっずくらぶ」のクリスマス

コープかがわ

12月5日(土)歳末大感謝祭を開催しました

12月5日(土)、毎年恒例の歳末大感謝祭をコープかがわ全店(16店舗)で開催しました。今年は全店が例年以上に盛りだくさんの企画を用意し、店舗・無店舗・本部、そして組合員が一緒になって大感謝祭を盛り上げました。「お買い上げ金額から5%割引」をはじめ、「試食」「子どもゲーム・カード」「ポップコーン風船プレゼント」「あったかメニューのふるまい」「エコでプレゼント」、さらには「ユニセフ ハンドインハンド」「テナント協賛企画」、また職員や組合員がサンタの衣装をまとっての「スタンプラリー150円券プレゼント」など、多くの組合員とそのご家族に楽しんで頂けた1日となりました。

来店者数で前年比128%、供給高で前年比134%と大きな成果を残すと共に、職員・ご協力頂いた組合員、さらには当日ご来店頂いた組合員とそのご家族の1年間の思い出に残る1日となりました。

歳末大感謝祭の様子

ポップコーンプレゼント

来客者前年比134%と大きな成果となりました。

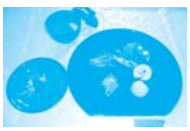
コープえひめ

コープえひめ 年末の風景

おせち料理を手作りしました！

12月の松山東支所の料理教室では、郷土料理と並んで大切にしたい食文化としておせち料理教室を行いました。おせち料理のいわれや作り方のコツ、飾り切りなど丁寧に教わりながら、午前中に二の重から三の重まで計9品作りました。初めて伊達巻きを作った組合員さんは「今まで買うものだと思っていました。こんなにきれいに作れてうれしい。」、「作ってみると意外と簡単。少しずつとりいれてみたい。」など好評でした。

飾り切りに挑戦。ニンジンの梅の花ができました。


盛りつけを工夫すると料亭のようです!

つきたてお餅が大人気！

愛媛の東予エリアはお正月は杵つきのお餅が欠かせません。コープえひめの東予の8店舗では、28日は店頭杵つき餅を販売します。多い店では100kg以上の餅がつかれ、つきたてを求める組合員さんが行列を作ります。組合員さんの中には餅を入れる専用の容器を持参される方も多く、お正月の餅を大切にする土地柄に合わせた年末恒例の取り組みです。

店舗委員さんも餅を丸める協力をしてくれました。

職員は組合員さんをお待たせしないよう、額に汗し、慣れた手つきで餅をついていきます。

こうち生協

たべる*たいせつ キッズクラブ 牛乳探検隊

食を考える体験企画、牛乳について学ぶ「牛乳探検隊！」が11月29日(日)、高知農業高校の協力で行われました。飼育されている動物(乳牛・豚・鶏・ダチョウ・ヤギ等)の見学や当日急遽『牛の乳搾り』も体験！ミルクの温かさを感じることができました。

その後、牛の体の仕組みについての話があり、「牛乳はジュース等とは違い、牛が一生懸命作り出す『命の水』です！」…印象深いお話でした。

昼食作りも参加者みんなで。メニューは牛乳たっぷりのシチュー！子ども達も材料を切り、大鍋で煮込みました。その間牛乳の飲み比べも行われました。(飲み慣れた味、と思ったのは生協の「美し牛乳」でした！)エサや季節・個体によっても味は変わってくるそうです。昼食後はみんなの感想を発表し、探検隊は解散しました。

参加の皆さんには、牛乳を飲むときに今日のことを思い出してもらえると嬉しいな！

みんなで力を合わせて昼食づくり!

今年の顔もあとわずか…みなさん良いお年を!!

恐る恐る乳搾り初体験！

おすすめ一言!

コープCSネット開発商品

2009年12月～2010年2月にリリースされる「コープCSネット開発新商品」情報をご紹介します!

お好みソース (500g) 328円　12月1回

●【コープやまぐち お好みソース 500g】と【生協ひろしま お好みソース 500g】の2品を統合して、グレード(おいしさ)アップを図りました。広島風にも関西風にもよく合います。また、お好み焼き以外にも、煮込み料理や揚げ物など様々な料理にもご利用頂けます。

●4種類の野菜・果実(トマト、デーツ、たまねぎ、りんご)を全重量の50%とたっぷり配合しています。おいしい時期に収穫した広島県牡蠣から旨味を抽出した「かきエキス」と、チキン、昆布、しいたけ、酵母エキスを配合し、自然な旨味が特徴のソースに仕上げました。化学調味料、カラメル色素は不使用です。

●デーツ(ナツメヤシの実)は、鉄分・カリウム・マグネシウムなどのミネラルや食物繊維が多く含まれています。デーツは、【コープCSネット お好みソース 500g】に欠かせない原料の1つです。デーツを加えることにより、奥深い甘みを出しています。

大山ヨーグルト いちご (80g×6) 198円　2月1回

●鳥取県産生乳を50%使用したベーシックなタイプで人気の【大山ヨーグルト】の姉妹品として、子どもを中心に幅広く人気のある「いちご味」をコープCSネット独自開発商品として開発しました。ヨーグルトと相性が良い「いちご果汁」を加えた家族みんなで楽しめるヨーグルトです。

●乳酸菌はブルガリクス菌とサーモフィルス菌を使用し、マイルドな酸味にすることで、豊かな生乳のコクを引き出しています。

●子どもが大好きな「いちご味」です。いちご果汁を1%使用し、甘酸っぱいいちごの香りがふわっとひろがるやさしい味に仕上げました。スプーンですくいやすい固さと、口の中でほどよくとろけるなめらかな食感にこだわりました。

国産ごぼう入りとうふハンバーグ (240g(3枚)) 398円　2月1回

●短めの拍子切りの国産ごぼうを約13%配合し、程よいシャキシャキ感を出しました。もちろん他の野菜も国産たまねぎ・にんじんを使用しています。国産鶏肉を約33%配合し、肉感をしっかりと引き出しました。ごぼうと鶏肉の相性が良いことから、ごぼうの独特の風味を活かしつつ、濃口しょうゆ、チキンエキスで味を付けました。

●電子レンジで簡単に調理でき、「そのまま」でも、「おろしポン酢」などをかけても美味しく召し上がっていただけます。

朝日米を使ったエビピラフ(おかやま育ち) (250g) 199円　2月4回

●【おかやまコープ 朝日米を使ったエビピラフ(おかやま育ち)】が、CS開発商品として新たに生まれ変わりました。リニューアルにあたって、むきエビを増量し、具のピーマンをインゲンに変更して、工夫を重ねて美味しさをグレードアップしました。

2009年度 コープCSネット体制(2009年度 第4次・第5次人事)が発表されました

新規出向者紹介

第4次人事異動でコープCSネットに着任した職員です。どうぞよろしくお願いいたします。

コープCSネット所属部署	氏　名	異動	異動発令日	出身生協
商品企画部 食品企画課	田中　義幸	第4次	2009年11月23日	鳥取県生協

帰任者紹介

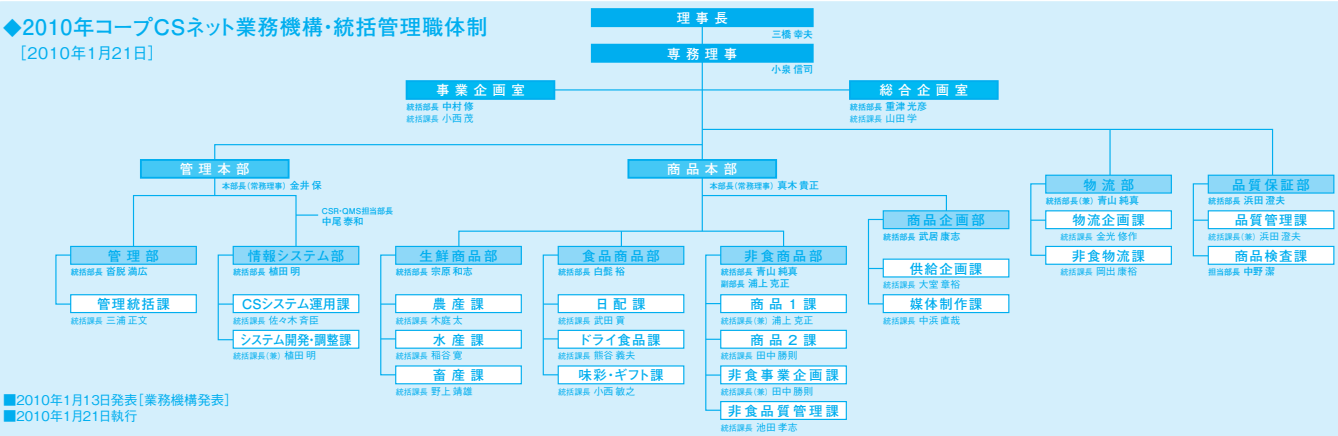
第4次、第5次人事異動で、会員生協に帰任された職員です。長い間、お疲れ様でした。

コープCSネット所属部署	氏　名	異動	帰任日	出身生協
商品企画部 食品企画課	岡田　安弘	第4次	2010年2月15日	鳥取県生協
品質保証部 商品検査課	峠岡　久美	第5次	2009年12月4日	生協ひろしま

コープCSネット 2010年度体制が発表されました(第1次人事)

●コープCSネット組織のあり方検討については起案・実行機能を管理部とし、担当人員の配置を行ないます。
●事業企画室を専務スタッフ部署として新設します。
●商品企画部を商品本部長スタッフ機能に変更します。合わせて、供給企画課および媒体制作課の2課体制とします。
●非食商品部 事業企画課を非食事業企画課へ改称します。
●非食品質管理課を品質保証部から商品本部非食商品部へ異動します。

◆2010年コープCSネット業務機構・統括管理職体制
[2010年1月21日]



■2010年1月13日発表[業務機構発表]
■2010年1月21日執行

2010年度 コープCSネット体制(2010年度 第1次・2次人事)が発表されました

新規出向者紹介

第1次・2次人事異動でコープCSネットに着任した職員です。どうぞよろしくお願いいたします。

コープCSネット所属部署	氏　名	異動	異動発令日	出身生協
専務部局 事業企画室	古本　顕寛	第1次	2010年1月21日	生協ひろしま
専務部局 事業企画室	長谷川 和史	第2次	2010年2月1日	鳥取県生協
生鮮商品部 畜産課	安木　郁人	第2次	2010年2月1日	鳥取県生協
食品商品部 日配課	赤澤　晋	第2次	2010年2月15日	おかやまコープ

帰任者紹介

第1次、第2次人事異動で、会員生協に帰任する職員です。長い間、お疲れ様でした。

コープCSネット所属部署	氏　名	異動	帰任日	出身生協
生鮮商品部 畜産課	浅野　弘伸	第2次	引継ぎ後3ヵ月程度	鳥取県生協
食品商品部 日配課	藤井　透	第2次	2010年2月15日 引継ぎ2週間程度	おかやまコープ

コープCSネット 開発商品 第1回 現地学習会 開催!!

2009年12月17日(木)18日(金)の2日間、コープCSネット開発商品現地学習会が開催されました。コープCSネットでは、産地・生産者や製造メーカーとの交流や学習はもちろん、会員生協の組合員とその商品の「食のシーン」について伝えあったりする中で、商品の認知度を高め、普及につなげていくことを大切にしています。この大切にしていることを、ひとつの商品(産地・メーカー)を例にして「品質保証」「食料自給率」「環境保全」などのキーワードに沿って現地で確認・交流することを目的に今回の現地学習会は開催されました。

第1回目の現地学習会は、「国産大豆そのまま豆腐(2009年4月1回デビュー)」の製造メーカーである株式会社マルツネ(愛知県知立市)の工場と、国産大豆の原料産地JAにしみの(岐阜県海津市)の圃場を見学しました。参加者からの感想からも「豆腐に糖度を設定されていることに驚きました。13度ということでりんご並みの糖度があることにも驚きました」「実際に見て感じることのできる現地学習会は気づきや感動が多く、改めて良さを実感することができました」など、良い評価を頂きました。

会員生協の開発商品が「私たちの商品」であるように、コープCSネット開発商品が中国四国の会員生協の組合員にとって「私たちの商品なんだ」と感じて頂けるような有意義な現地学習会となるように、今後も組合員の「声」を活かす取り組みとしていきます。

国産大豆そのまま豆腐

国産大豆そのまま豆腐

「国産大豆そのまま豆腐」は、国産大豆(100%)をまるごと使用した製法で、おからを出さないお豆腐です。おからを出さないことによって産業廃棄物を減らし、環境にも優しいお豆腐になっています。
大豆の持つ豊富な食物繊維を損なわず、大豆本来の旨み、甘みがあり、のど越しが良くなめらかで美味しい豆腐です。
2009年度上期のコープCSネット開発商品人気ランキングで総利用点数順位が第3位になるなど、その品質と価格で多くの組合員さんに支持されています。

ちょっと意外!? 「国産大豆そのまま豆腐」食べ方交流

★我が家では、チーズのようにサラダに入れて食べたりします。(岡山からの参加者)

★お好み焼きに豆腐を入れたり、ハンバーグに入れたり、ふわっとなります。
(広島からの参加者)

★湯豆腐がサイコーに美味しいです。(多数)

★東海地方は味噌文化なので、味噌たれ、肉味噌などで豆腐を頂きます。
その他、ザーサイを炒めたものをのせたり、あんけかけなどもおすすめです。
(㈱マルツネ 近藤専務)

「国産大豆そのまま豆腐」の製造過程を見学します。牛乳・デザートを製造しているかのような工場の様子に見学者全員驚きました。機械好きの専務が様々な展示会を回り、衛生面を考えながら他業種の先進機械の導入を行ないました。

「国産大豆そのまま豆腐」の主原料となる国産大豆微粉末(きな粉の1/100の細かさ)を見る参加者。

自社で行なっている遺伝子検査を説明する ㈱マルツネ 近藤専務

試食交流の様子。いちごジャムや黒蜜をかけて頂きました。

JAにしみのの圃場にて。中国地区5生協から13名、コープCSネットから6名が参加しました。

JAにしみの加賀センター長管内の9割以上の圃場の地下にパイプを入れて排水を行なう整備が進んでいると説明して頂きました。

JAにしみの平田ビーンセンター(大豆乾燥調整施設)。大豆の乾燥過程を見学しました。

会議報告

2009年度（第5期）第4回 理事会

2009年12月25日(金)14:30～17:00　場所 COCOLAND 山口・宇部

1. 諸報告並びに専決事項の報告に関する件

(1)商品本部
①生鮮商品部・食品商品部・商品企画部・非食商品部 11月
②商品活動推進11月・非食事業組合員交流会　③12月中間報告について

(2)管理本部
①各種議事録報告　②情報システム報告
③コープCSネット 11月期決算と09年度見込みについて　④リベート見込みについて
⑤内部統制の進め方について　⑥ODSC開所式について

(3)専務スタッフ部局
①機関・基幹会議 議事録　②NB共同仕入検討会議　③月度報告・議事録
④NB共同仕入幹事会への参加について　⑤生鮮物流の検討状況について

(4)監事会からの報告
①上期監査意見書　②事業連合の監事会監査環境のあり方についての提言

2. 10年度事業予算に関する件（協議事項）
①全体方針　②組織体制、会議体について　③配送計画、利用人数計画集約
④媒体別事業予算概要、商品本部方針、媒体制策　⑤媒体政策当日追加修正
⑥部門方針　⑦CSネット10年度収支案と投資予定　⑧今後のスケジュール確認

3. 協定締結に関する件（協議事項）
①サンゴ再生事業への支援参加について

4. その他 次回日程（報告了承事項）
①第5期第5回理事会 10年3月26日（金）11:00～14:00 日生協中四国地連会議室

2009年度　会員生協への供給高　供給剰余金

2009年4月～2009年12月累計

単位:千円

	実績	計画	計画差	計画比
会員生協への供給高	54,936,705	55,224,230	-287,525	99.48%
鳥取県生協	3,092,546	3,123,337	-30,791	99.01%
生協しまね	3,947,628	3,972,286	-24,658	99.38%
おかやまコープ	14,976,630	15,204,342	-227,712	98.50%
生協ひろしま	17,978,629	18,026,777	-48,148	99.73%
コープやまぐち	7,061,951	7,006,793	55,158	100.79%
とくしま生協	1,267,886	1,300,746	-32,860	97.47%
コープかがわ	1,953,951	1,878,386	75,565	104.02%
コープえひめ	3,208,880	3,172,400	36,480	101.15%
こうち生協	1,448,604	1,539,163	-90,559	94.12%
事業剰余金	74,009	60,607	13,402	122.11%
経常剰余金	76,576	59,957	16,619	127.72%

私たちの生協です！

生協ひろしま

このコーナーでは、中国四国9生協の広報担当の方に順番に登場して頂き、それぞれの生協のニュースや自慢、会員生協独自の商品や名物など、個性豊かに紹介していきます。
第22回目は、生協ひろしま　機関運営・広報グループにご登場いただきました。

配送・営業担当者600名集う

1月9日（土）、配送担当・営業担当が一堂に会して、今後に向けて思いをひとつする「無店舗事業全体会」が、広島市内で開催されました。集まったのは、総勢600名。日頃の業務では外に出てしまうと「一人」ですが、同じ思いのたくさんの仲間と一緒に仕事をしているということが実感できる会となりました。

皆で来年度の取り組み方針を確認しました。

会では、まず横山専務理事のあいさつの後、2009年度を振り返り、みんなで取り組んだ課題の成績優秀者やチームの表彰式が行われました。「秋の仲間づくり」・「供給高」・「安全運転キャンペーン」と、組合員さんの暮らしに役立つためにどれも大切なものばかり。どの受賞者も、「日頃の組合員さんとの何気ないコミュニケーションをより深めていきたい」と述べていました。その後は、共済決起集会で200%超達成者などの紹介、来年度の方針の確認で会は終了。組合員さんの笑顔と感動のために一人ひとりが成長していくことを確認しあいました。2010年度、生協ひろしまは、25,000名の仲間作りに再チャレンジします。

秋の仲間づくり、実績優秀者の皆さん

下半期の供給活動での実績優秀者の皆さん

共済の年間計画、200%超の皆さん（1月8日現在）

次回は、コープやまぐちの「HP管理人の案山子」さんの登場です。どんなHOTな話題が飛び出すか楽しみです！

編集後記

あけましておめでとうございます。どんな時代であっても、年が明けると新たな希望が湧き出てくるように感じるから不思議ですね。
今年は、コープCSネットが2年以上に渡り準備をしてきた「尾道ドライセットセンター（以下、ODSC）」が稼動します。今までドライ商品は、各会員生協の商品センターで「班仕分け」や「個人仕分け」を行なっていました。その作業を3月からODSCで行なうようになります。準備にあたって、物流という枠にとらわれず「情報システム」、「事業運営・マネジメント」の側面からも討議を行ないました。そして、最新の物流機能（集品作業の機械化、アイテムフリー集品、伝票レスシステム等）をもつ物流センター稼動となりました。ODSCは、会員生協とコープCSネットの共同事業です。そして、コープCSネットにとっては、物流というインフラストラクチャーに具体的に着手した記念すべき事業といえます。今回のODSCの稼動に伴い、品質管理の強化はもちろん物流品質の向上も図ります。ODSCの稼動が会員生協の連帯を一層強め、組合員の暮らしに貢献していくことを心から祈っています。今年もよろしくお願いいたします。

<編集責任者>コープCSネット総合企画室　担当　長谷川 直子

発行:2010年1月28日・通巻22号　生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合　〒739−0496 広島県廿日市市大野原1-2-10　TEL:0829-50-0633（代）
発行責任者:三橋幸夫　　発行事務局:総合企画室　　E-mail:nahasegawa@hiroshima.coop

R100 VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています。